

「障害がある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考える カフェ（ココロン・カフェ）」の開催について

1 目的

障害を理由とする差別の解消を推進するための条例づくりにあたり、障害を理由とする差別の解消に関する市民の関心を高め、幅広い理解を得ながら進めていくため、障害の有無にかかわらず広く市民が参加できる検討の場として「障害がある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるカフェ（愛称：ココロン・カフェ）」を開催する。

このカフェで出された意見等について、障害者施策推進協議会の議論に生かしていくと共に、障害のある人とない人が知り合い、お互いに理解を深めるための場として運営していく。

2 概要等

(1) 主催

仙台市

(2) テーマ

「障害のある人もない人も暮らしやすいまちについて考えよう」

① 第1回及び第2回

「障害ってなあに？」

② 第3回及び第4回

「障害を理由とする差別を解消するにはどうしたらいい？」

(3) 対象

障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりに興味・関心がある市民（障害の有無は問わない）、障害者施策推進協議会委員等

(4) 開催日時及び場所

① 第1回ココロン・カフェ

- ・ 平成26年10月22日（水）10時～11時45分
- ・ 仙台市福祉プラザ1階プラザホール

② 第2回ココロン・カフェ

- ・ 平成26年11月23日（日）14時～16時
- ・ 市役所本庁舎8階ホール

③ 第3回ココロン・カフェ

- ・ 平成27年1月27日（火）10時～11時45分
- ・ 仙台市福祉プラザ1階プラザホール

④ 第4回ココロン・カフェ

- ・ 平成27年3月1日（日）14時～16時
- ・ 仙台市福祉プラザ（予定）

3 第1回及び第2回ココロン・カフェの次第（予定）

（1）はじめに

- ・ココロン・カフェの開催趣旨などについて説明

（2）仙台市からの説明

- ・障害を理由とする差別について
- ・収集された差別事例等について

（3）テーブル毎に少人数で行う対話形式のワークショップ

- ・参加者が少人数のグループに分かれ、3つ程度のテーマ毎に、話し合うメンバーの組み合わせを変えていくワールド・カフェ方式で多くの人と意見交換する。
- ・各グループのホスト（司会）は相談支援事業所職員等を予定
- ・意見交換の項目（例）
 - ① 「障害にはどんなものがあるのか」
 - ② 「障害に関する自分の体験について振り返る」
 - ③ 「障害のある人もない人も暮らしやすいまちにするためのアイデアについて」

（4）まとめ

- ・意見交換の内容を全体で共有

※「ワールド・カフェ」

自由に関係性を築くことができるカフェのようなオープンでリラックスした場の中で、数名単位のグループで、メンバーの組み合わせを変えながら、テーマに集中した対話を続けることにより、新しい知恵やアイデアを生み出す会話の手法。

4 運営面での配慮について

○障害のある参加者のための情報保障を行う。

○できるだけ多くの市民が参加し、発言できるようワークショップの話し合いを行うにあたってのルールを決め、参加者に守っていただく。

【参考：さいたま市 市民会議の話し合いルール】

- ① 話すときは、会議進行役の呼びかけによって、話し始める。
(会議進行役が話す人を指名します)。
- ② みんなが発言できるよう、1回あたり○分くらいを目安として発言する。
ただし、障害の特性にあわせて、特別な配慮が必要な方は、○分くらいを目安とする。
- ③ 他の人が話しているときは、途中でさえぎらず、最後まで聞く。
- ④ 話し合いの相手を攻撃したりせず、意見として受け止める。
- ⑤ 特定の個人や団体の悪口や傷つけるような発言しない、など。